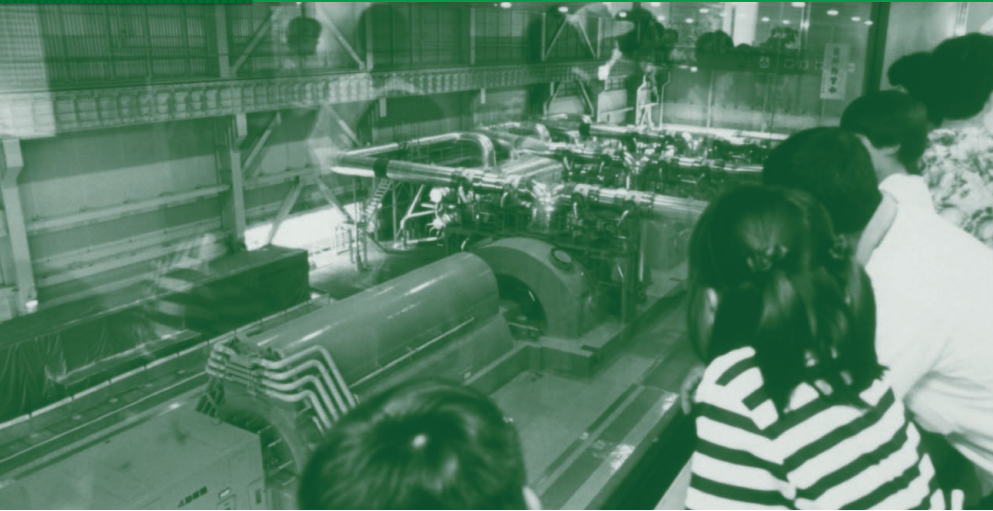


## 透明性の高い開かれた事業活動



**CSR 行動原則**

関西電力グループは、事業活動に社会の声を的確に反映させるとともに、事業運営における公正さを確保し、社会に対する説明責任を誠実に果たしていくため、社会のみなさまとのコミュニケーションを一層推進し、透明性の高い開かれた事業活動を行います。

### ステークホルダーのみなさまとのコミュニケーションを充実

#### 広報・広聴活動について

広報・広聴活動を通して、お客さまや地域のみなさまをはじめとするステークホルダーの方々に適切に情報発信をおこない当社事業にご理解をいただくとともに、頂戴したご意見やご要望を、経営層や従業員と共有を図り、事業活動に反映させることで、みなさまからの信頼を賜ることができるよう努めています。



また、さまざまな機会を通じて、ステークホルダーのみなさまとの「フェイストゥフェイス」によるコミュニケーションを実践しています。みなさまからのご意見やご要望をしっかり受け止めつつ、正確で丁寧な情

報発信をおこなうことにより、当社事業活動へのご理解をいただきながら、信頼関係を強化していきたいと考えています。

#### 社会のみなさまの声を事業活動に反映

各事業所は、お客さま宅への訪問のほか、地域の有識者やオピニオンリーダーの方々と意見交換会などを通じて、ご意見やご要望を頂戴するとともに、事業活動への反映に努めています。

また、地域社会のみなさまとの交流の場や、日々の業務においてもさまざまな広聴活動を展開しています。こうした活動などで頂戴したご意見は、データベース「ダンボの声」に掲載し、全社で共有するとともに業務改善に役立てています。

加えて、東日本大震災以降、エネルギー問題についての自治体や地域のみなさまの関心が高まっていることを受け、ご要望やご要請などの迅速な把握に努めるとともに、地域のみなさまとエネルギーについての課題を共有し、対策を考えています。



「ダンボの声」

## 報道機関への対応

テレビや新聞が報じる情報は、お客さまの当社に対する理解やイメージを大きく左右します。そこで、定例社長会見をはじめ、報道機関への情報提供を積極的に実施するとともに、報道機関からの取材にも迅速かつ的確に対応し、当社事業への理解促進を図っています。



定例社長会見

## Webを活用した情報発信

メディア環境の多様化を踏まえ、インターネットでの情報発信に力を入れています。

2013年にホームページを全面リニューアルし、その後もお客さまからいただいたご意見等をもとに改善を重ねながら、探しやすく、わかりやすい積極的な情報発信を心がけています。



Web 関西電力 検索

また、Web動画による親近感のある情報発信にも注力しています。お客さまが普段目にするここのない原子力発電所の内部をWeb見学会形式でご紹介する動画や、家族の絆と節電行動をショートドラマ風に仕上げた動画などをホームページやYouTubeに掲載し、多くの方々にご視聴いただいています。さらに、FacebookやTwitterでは、安全・安定供給に対する当社従業員の思いなど、より現場にフォーカスを当てた記事を掲載。Facebookファン数は9万人を突破(2015年6月現在)しています。

今後もホームページによる情報発信をベースに、ソーシャルメディアなどのコミュニケーションチャネルを最大限活用し、より多くのお客さまにより伝わる情報を発信できるよう、努めていきたいと考えています。

Web 関西電力 YouTube 検索

関西電力 Facebook 検索



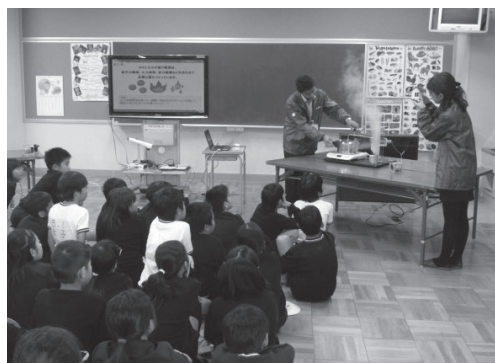
関西電力 高浜発電所を特別公開! ~高浜発電所~  
 5月28日(土)放送  
 高浜発電所は、関西電力の主力発電所です。本発電所では、最新の安全対策を講じており、安全・安定供給に貢献しています。今回は、発電所の内部を特別公開し、発電の仕組みや安全対策について詳しくご紹介します。ぜひご覧ください。



## 次世代層への教育

未来を担う子どもたちにエネルギーを身近に感じてもらい、その大切さを伝えることがとても重要だと考え、当社従業員が地元の小・中学校などに伺い、エネルギーに関する授業「出前教室」を実施しています。

この「出前教室」では、発電や送電の仕組みのほか、電気の使われ方や省エネの大切さ、地球温暖化問題などについて、楽しく、わかりやすく学んでもらえるよう工夫を凝らし、ご説明しています。

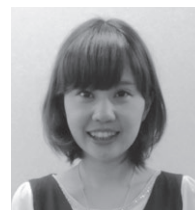


出前教室

## Voice

### 授業参観で「出前教室」を実施 保護者のみなさまに好評をいただく

大阪北支社・守口総務グループでは、管内の小学校に伺い、電気と環境に関する授業「出前教室」をおこなっています。「エネルギーの大切さについて考えるきっかけになれば」という思いで、手回し発電機や発電所模型といった実験器具を使用するなど、日々、授業内容に工夫を凝らしながら取り組んでいます。2014年度は授業参観で「出前教室」を実施し、保護者のみなさまからも「電気を身近なものに感じるよい機会になった」とご好評をいただきました。地域社会の一員として、今後もみなさまのお役に立てるような活動を続けていきます。



大阪北支社  
守口総務グループ  
小畑 知沙  
(所属は寄稿時のもの)

## 原子力発電に関する当社の情報公開について

当社の原子力発電所における安全性・信頼性向上に向けた取組みに関する情報を、ホームページ、新聞広告などを通じてお伝えしています。

今後も、原子力発電の信頼回復に向け、こうした情報を多様な方法で、積極的にご提供していきます。



ホームページ



新聞折込  
(越前若狭のふれあい)

## コミュニケーション誌による情報発信

当社グループの事業活動をステークホルダーのみなさまにより広く、また、より深くご理解いただくため、刊行物などでの情報発信にも努めています。例えば、オピニオン層向けの広報誌『躍』では、毎号、社会性や時事性の高いテーマを深く掘り下げ、専門性の高い情報を発信しています。



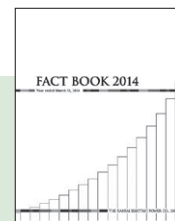
広報誌『躍』

## 株主、投資家のみなさまへの情報発信

株主、投資家のみなさまへの公平で迅速な情報発信に努めています。国内や海外の機関投資家、個人投資家、公共団体など、多岐にわたる方々に対し、さまざまな方法で情報を提供しています。社長による「会社説明会」や、社長を含めた役員による国内外の「投資家訪問」を定期的に行い、経営者自らが積極的に投資家のみなさまと対話を図るとともに、資本市場の声を経営にフィードバックするなど、双方向のコミュニケーションに努めています。また、当社事業の概要や経営目標、財務データなども、適時、ご提供しています。



「企業情報/IR」  
(当社ホームページ：随時更新)



『ファクトブック』  
(年1回発行)



『かんでんだより』  
(年2回発行)

## 社内コミュニケーション

経営上の重要な情報を共有し、理解促進を図るとともに、職場一体感や従業員のやる気・やりがいを高めるため、2015年3月には、社内ポータルサイトを従業員がより見やすく、活用しやすくなるようリニューアルしました。

また、社内報『関西電力新聞』では、経営情報などを詳細に解説し、特に重要な情報については、特集記事を組んでいます。

さらに、経営計画などについては、社内テレビや社内ポータルサイトを活用して経営層の考えや思いをわかりやすく伝達しています。

今後も引き続き、従業員同士や職場間、グループ間のコミュニケーションの活性化に努めていきます。



社内ポータルサイト

## 今後の方針

当社は、電気事業、とりわけ原子力発電所の安全性や将来のエネルギーミックスのあり方などに対する関心が高まるなか、当社事業や原子力発電にご理解をいただき、信頼を賜るため、お客さまや社会のみなさまと接するさまざまな機会を通じて、従業員一人ひとりが「フェイストゥフェイス」によるコミュニケーションに努めてまいりました。

加えて、2015年度の電気料金の再値上げにより、お客さまや社会のみなさまに多大なるご負担をおかけすることとなりましたが、徹底した経営効率化に

取り組んでいる状況においても、状況に応じてさまざまな手段を活用しながら、今後も適切な情報発信に工夫を凝らしてまいりたいと考えています。より多くのお客さまや社会のみなさまに、当社の原子力発電所における安全性向上に向けた取り組みや、電力の安全・安定供給を全うするための取り組みなどについて、より一層のご理解をいただきながら、みなさまのご不安やご心配を解消するとともに、みなさまからのご意見やご要望にしっかり耳を傾け、開かれた事業活動を継続してまいります。



関西電力株式会社  
広報室長  
保田 亨